

## 可燃性廃棄物(焼却)の広域処理の見通しについて(H24.12 現在)

(震災廃棄物対策課)

[印刷用ページを表示する](#) 掲載日:2013年1月11日更新

### 可燃性廃棄物(焼却)の広域処理の見通しについて

(H24.12 現在)

記者発表資料

平成25年1月10日

環境生活部震災廃棄物対策課

担当:千葉、藤原、後藤(内線 2657)

#### 1. 概要

- 現在、可燃性廃棄物の焼却を依頼している北九州市、東京都、茨城県に平成25年度の広域処理の方向性をお示しする必要があることなどから、災害廃棄物等処理対象量(県受託処理分)の見直しを実施中。
- 宮城県としては、可燃性廃棄物については、北九州市はじめ上記3都県市に引き続き平成25年3月まで処理に御協力いただければ、平成26年3月までの処理終了についてほぼ見通しが立ったと認識。(可燃性廃棄物の概況については下記のとおり。)
- このため、平成25年度は、県外への可燃性廃棄物の広域処理の要請は行わない方針。
- 北九州市には、早い段階から可燃性廃棄物の処理について尽力いただいた。平成25年3月までにお願している可燃性廃棄物2万3千トン(選別前の混合廃棄物では4万2千トン(12万m<sup>3</sup>))に相当し、石巻市の中でも一刻も早く撤去が望まれる川口町一次仮置き場の処理が大きく進捗した。

#### 2. 災害廃棄物等処理対象量(県受託処理分)のうち可燃性廃棄物の状況

区分	H24.7処理実行計画	H24.12 見直し	増減
県全体	約213万トン	約153万トン	▲約60万トン
うち石巻ブロック	約141万トン	約90万トン	▲約51万トン

主な増減理由:災害廃棄物の組成の精査、可燃物の腐敗等による変質、解体家屋数の減

#### 3. 石巻ブロックの可燃性廃棄物の予定処理先

焼却対象量	約90万トン
-------	--------

予定処理先

県内	二次仮置き場仮設焼却炉	約68万トン	二次処理プラント間の連携を含む
	石巻広域クリーンセンター	約1万トン	
	仙台市	約10万トン	H24, 25 分
県外	H24 既調整済広域処理	約11万トン	東京都(8.6), 北九州市(2.3), 茨城県(0.3)
計		約90万トン	

#### 4. その他

災害廃棄物等処理対象量(再生利用, 焼却処理, 埋立処分)は, 現在見直し作業中につき, 今後変更の可能性がある。